

呼吸器センター



診療科長
(呼吸器内科)
三尾 直士

専門医資格等
 日本がん治療認定医
 機構暫定教育医
 日本医師会認定産業医
 アメリカ胸部疾患学会
 (ATS)
 アメリカ臨床腫瘍学会
 (ASCO)
 京都大学医学博士
 京都大学臨床教授
 専門分野
 呼吸器内科全般
 得意疾患
 肺癌・間質性肺炎



診療科長
(呼吸器外科)
澤井 聡

専門医資格等
 日本呼吸器外科学会
 専門医・指導
 医・評議員
 呼吸器外科専門医
 気管支鏡専門医
 外科専門医
 滋賀医科大学医学博士
 専門分野
 呼吸器外科全般
 得意疾患
 肺癌・縦隔腫瘍

□ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	中谷 光一	日本内科学会 認定内科医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医	呼吸器内科全般	肺癌・睡眠時無呼吸症候群・呼吸器内科全般
医師	橋本 雅之	日本外科学会 外科専門医 日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定医 INTUITIVE社認定 ダ・ヴィンチコンソール術者	呼吸器外科全般 呼吸器外科ロボット手術	呼吸器外科全般
医師	岡村 美里	日本内科学会 認定内科医	呼吸器内科全般	肺癌 呼吸器内科一般
医師	藤田 浩平	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本感染症学会 感染症専門医・指導医 京都大学医学博士	呼吸器内科全般	呼吸器感染症・肺癌・呼吸器内科全般
医師	金井 修	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本エイズ学会 治療指導医 エイズ拠点病院 施設代表 京都市HIV感染症対策専門委員会 委員	呼吸器内科全般	HIV感染症、睡眠時無呼吸症候群、呼吸器内科一般
医師	武田 恵子	外科専門医 癌治療認定医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
医師	堀本 かな	外科専門医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
専攻医	益本 貴人		呼吸器外科全般	呼吸器外科全般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科基幹施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設 日本感染症学会認定施設
-------	---

[診療のモットー]

1. 難治な呼吸器疾患に対して最新の治療を提供します。
2. 十分な情報を提供し、患者さんの意見を尊重し診療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、地域に根ざした医療機関を目指します。

[当科の特色]

呼吸器疾患は悪性腫瘍・感染症・気道系疾患・呼吸不全・びまん性肺疾患・生活習慣病など、他の臓器には見られないほど多岐にわたり、その多くが生命に直接関わる重要な領域です。当科では多様な呼吸器疾患患者さんに対して専門性の高い医療を提供するように努力しています。さらに現在治療法の進歩が見られる疾患について最新最良の治療を取り入れています。

肺癌は最も死亡数が多い悪性腫瘍で、今でも難治ですが、分子標的剤や免疫チェックポイント阻害剤などの新しい治療薬や支持療法の開発が急速に進んでおり、治療方法が大きく変わりつつあります。新しい治療法のおかげで、治療不能とされていた超高齢者や、治療不応となった患者さんにも治療を提供できる機会が増えており、患者さんの予後が大きく改善しつつあります。また、悪性腫瘍の診療においては外科治療・放射線治療・化学療法・緩和医療の4本柱があり、関係する各科の協力が必要ですが、当院での肺癌診療においては、呼吸器内科・外科、放射線科、化学療法部、緩和ケア部とカンファレンスなどの場をもうけ緊密な関係をもって進めています。

気道系疾患である喘息、慢性閉塞性肺疾患は特に有病率が高い疾患ですが、終生にわたって治療を続けていく必要性があり、当科では診断・治療導入、悪化時の緊急対応、リハビリテーションなど地域の拠点病院でないとできない診療を中心にを行い、その後は患者さんの負担を出来るだけ少なくするように地域の医療機関と連携して診療を行なっています。

呼吸器感染症はヒトの疾患の中でも最も重要な疾患の一つです。当科では急性・慢性の呼吸器感染症の診療を行っていますが、市中肺炎以外に、他科で診療中の免疫不全状態で起きる弱毒菌の感染症やHIVの症例の診療も行っております。さらに、最近急増している非結核抗酸菌の患者数も多く、積極的に臨床・研究に取り組んでいます。

上記以外にも呼吸器には急性・慢性の呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺疾患など重要な疾患が多数あります。それらの疾患をもつ患者さんに対しても常に最良の治療を提供できるように日々研鑽しながら診療に当たっています。

呼吸器外科では肺癌をはじめとする胸部の腫瘍（肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍）や気胸を代表とする嚢胞性肺疾患に対して、より負担の少ない胸腔鏡下手術を積極的に行っています。膿胸などの炎症性疾患に対しても積極的な外科治療（局所麻酔下胸腔鏡を含む）を行っています。気道狭窄に対するステント留置やレーザー焼灼術などの気管支鏡下手術や、漏斗胸に対する矯正術（Nuss法）も行っています。

□ 主な対象疾患

肺癌 転移性肺腫瘍 縦隔腫瘍 中皮腫 胸腺腫 胸壁腫瘍 気胸 肺嚢胞症 気道狭窄 漏斗胸 膿胸
慢性閉塞性肺疾患 気管支喘息 慢性・急性呼吸不全、呼吸器感染症（肺炎・非結核性抗酸菌症・結核）
びまん性肺疾患（間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎など）
睡眠時無呼吸症候群 HIV感染症

□ 診療（業務）内容

呼吸器内科の外来診察日は月曜から金曜まで毎日新患外来を含めて3外来を行なっています。

呼吸器外科の外来診察日は月、火、木、金曜日で、手術は水、金曜日に行っています。

睡眠時無呼吸症候群の専門外来は毎週水曜日です。完全紹介制としております。初めての方は紹介元の施設で予約を取得して頂きますよう、よろしくお願い致します。

気管支鏡検査、CTガイド下生検検査は原則として1泊の入院で行なっています。

それぞれ月・火・木と火・木曜日の午後に行っています。

HIV感染症の初診については呼吸器科外来に予めお電話頂ければ受診日等を事前に相談していただくことができます。

□ 診療実績(令和元年度)

呼吸器内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
46.4名	1194名	14.0日

呼吸器内科外来患者数

1日平均患者数
62.3名

呼吸器外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
9.2名	271名	12.0日

呼吸器外科外来患者数

1日平均患者数
11.9名

主な手術・検査の件数など

手術(全身麻酔)	肺癌手術(診断含)	気管支鏡検査	局所麻酔下胸腔鏡検査	CTガイド下肺生検
176件	83件	342件	6件	86件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Fujita K	Factors associated with frailty in patients with mycobacterium avium complex lung disease-preliminary study	American Thoracic Society International Congress 2019	Dallas, USA	2019.5.19	2019.5.18-5.22
国際学会	Kanai O	Impact of nivolumab-induced fever on the treatment effect: a retrospective study.	European Respiratory Society 2019 International Congress	Madrid, Spain	2019.9.30	2019.9.28-10.2
国際学会	Fujita K	Efficacy and safety of anti-PD-L1 antibody in NSCLC patients who previously treated with anti-PD-1 antibodies.	European Respiratory Society 2019 International Congress	Madrid, Spain	2019.9.30	2019.9.28-10.2
国際学会	Fujita K	Analysis of immune related adverse events in NSCLC patients receiving durvalumab after chemoradiotherapy in the real-world clinical setting.	Asian Pacific Society of Respirology 2019 Congress	Hanoi, Vietnam	2019.11.15	2019.11.14-11.16
国際学会	Yamamoto Y	Occurrence of pneumothorax in patients under treatment with nintedanib.	Asian Pacific Society of Respirology 2019 Congress	Hanoi, Vietnam	2019.11.15	2019.11.14-11.16
国内学会	金井 修	An implicit threat: dolutegravir-induced schizophrenic brief psychotic disorder and persistent cenesthopathy. (English session)	第93回日本感染症学会総会	名古屋	2019.4.6	2019.4.6
国内学会	藤田 浩平	優秀演題賞受賞: Factors associated with frailty in patients with mycobacterium avium complex lung disease. (English session)	第93回日本感染症学会総会	名古屋	2019.4.6	2019.4.6
国内学会	内田 尚宏	京都市伏見区における天候と気胸発症の関係性.	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.14	2019.4.13-4.14
国内学会	金井 修	当院におけるPD-L1検査の実態および検査結果に影響を及ぼす因子に関する後向視的研究	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.14	2019.4.13-4.14
国内学会	山本 佑樹	ニンテダニブ投与中における気胸発症例の臨床的検討.	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.13	2019.4.13-4.14

国内学会	藤田 浩平	非小細胞肺癌患者における抗PD-1抗体治療後の抗PD-L1抗体治療の効果と安全性の検討	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.13	2019.4.13-4.14
国内学会	中谷 光一	Acute fibrinous and organizing pneumoniaと思われた一例	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	岡村 美里	抗IFN- γ 自己抗体陽性の播種性非結核性抗酸菌症の一例.	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	藤田 浩平	当院で経験したdurvalumab使用後に生じた有害事象に関する考察.	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	金井 修	免疫チェックポイント阻害薬により自己免疫性好中球・血小板減少症を発症した肺扁平上皮癌の一例	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	岡村 美里	肺癌患者におけるantiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw(ARONJ)の実際	第60回日本肺癌学会総会	東京	2019.12.9	2019.12.6-12.8

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	藤田 浩平	Emerging concerns of infectious diseases in lung cancer patients receiving immune checkpoint inhibitor therapy.	Respir Med.	146	1	66-70			2019.1
英文論文	藤田 浩平	A case of pulmonary lymphoproliferative disorder presenting rapidly progressive respiratory failure.	Respirol Case Rep	7	5	e00422			2019.4
英文論文	藤田 浩平	Retreatment with anti-PD-L1 antibody in advanced non-small cell lung cancer previously treated with anti-PD-1 antibodies.	Anticancer Res	39	7	3917-3921			2019.7
英文論文	柏原 英里子	Disseminated Mycobacterium kansasii disease in a patient with anti IFN-gamma antibody.	Am J Trop Med Hyg	101	5	1066-1069			2019.11
英文論文	藤田 浩平	Retreatment with anti-PD-1 antibody in non-small cell lung cancer patients previously treated with anti-PD-L1 antibody.	Thorac Cancer	11	1	15-18			2020.1